

体育理論「オリンピックと環境」

作成者：筑波大学・宮崎明世

対象：高校1年生、2年生 40名

本時の位置：5時間中の2時間目

授業の目標：オリンピック・ムーブメントの1つの柱としての環境問題、オリンピックと環境問題のかかわりを理解する。過去の事例を知り、今後の環境とのかかわり方、配慮の仕方を考えられるようになる。

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	<p><u>前時の復習：オリンピック競技会とは</u></p> <p><b>発問①</b>「オリンピズム、オリンピック・ムーブメントとはどのようなものでしたか」</p> <p><b>説明</b> 前時の復習 オリンピック・ムーブメントの1つの柱に環境問題がある。 本時のねらい説明</p>	<p>簡潔に前時に学習したオリンピズム、オリンピック・ムーブメントについて復習する。</p> <p>スポーツと環境問題のつながりについて興味を持たせる。</p>
展開 ①	<p><u>オリンピックと環境問題にはどんな関係があるのだろうか</u></p> <p><b>発問②</b>「オリンピックのどのようなことが環境に影響を及ぼすだろうか」</p> <p>環境に影響を及ぼすような人の活動には、どんなものがあるか。自然環境の中で行うスポーツとは？</p> <p>→<b>板書</b></p> <p><b>説明</b> 大きなスポーツイベントに必要な、施設、交通、人の集中などが環境に影響を及ぼす。 スキー、セーリング、カヌー、ビーチバレーなど、自然と直接かかわるスポーツも多い</p>	<p>オリンピック競技会を開催するに当たって、必要となるさまざまなもの、巨大イベントの開催による特別な状況が、自然環境や住環境に与える影響について考えさせる。</p> <p>段階的に質問をし、スポーツと環境、オリンピックと環境に結びつける。</p>
展開 ②	<p><u>これまでにオリンピックで問題となった環境破壊</u></p> <p><b>発問③</b>これまでにオリンピックで起こった環境問題とは</p> <p>→知っている事例があれば聞いてみる</p> <p><b>説明</b> 札幌オリンピックの恵庭岳開発問題、長野オリンピックでのスキー滑降スタート位置の問題、環境がオリンピック競技会で大きな問題として取り上げられるようになったきっかけ→1992 アルベールヴィル大会などの事例説明</p>	<p>これまでにオリンピック競技会で環境問題が話題となった事例を紹介し、環境問題のこれまでの流れを簡潔に学ばせる。</p> <p>具体例を通して、身近な問題として考えさせる。</p>
展開 ③	<p><u>オリンピック、環境への取り組み</u></p> <p><b>発問④</b>オリンピックの開催にあたって環境への配慮はどのように行われているだろうか。</p> <p><b>説明</b> オリンピック・ムーブメントの柱は「スポーツ」「文化」「環境」であり、今や環境への配慮は欠かせない重要な観点である。「環境保全と持続可能な開発」 オリンピック競技会以外での環境問題、取り組み →オリンピック・ムーブメントは競技会時にとどまらない</p> <p><b>発問⑤</b> 私たちが身近でできることは何だろうか</p> <p>→ Think Globally Act Locally</p>	<p>環境問題への取り組みと関わり方について考えさせる。</p> <p>近年のオリンピック大会の環境対策、2020 東京招致ファイルの対策などを紹介するとともに、「持続可能な開発」について考えさせる。</p> <p>身近な、できることから対策を考えることができるようになる。</p>
まとめ	<p>本時の学習を振りかえり、学習の成果を確認する。</p> <p>次回の予告</p>	<p>学習カード、アンケート調査</p>